

科目名 (Subject)	商法研究 I (基本) Commercial Law I (Basic)		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	前期
担当教員名 (Name)	多木 誠一郎 (英訳) Seichiro Taki	研究室番号 (Office)	435号室
Office Hours	火曜日13時00分～14時00分。左記時間外でも訪問歓迎		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method) 会社法についての学力を身につけることを目的にします。 受講生の皆さん1人1人に報告していただいたうえで全員で議論する方法をとります。</p> <p>2. 授業内容 (Course contents) 会社法のうち、とりわけ機関と組織再編について取り上げる予定です。もともと、受講生の関心に応じて柔軟に対応します。会社法以外をテーマにして欲しい等 (例えば、第一次産業と法、アグリビジネスと法、商取引と法、金融決済と法、会計・監査と法……)、何か特別の希望がある場合には、気軽にご相談下さい。</p> <p>第1週 オリエンテーション</p> <p>第2週～第4週 機関 その1 (予習課題) 株主総会の実態把握 (復習課題) 株主総会をめぐる法律関係の整理</p> <p>第5週～第7週 機関 その2 (予習課題) 取締役・取締役会の実態把握 (復習課題) 取締役・取締役会をめぐる法律関係の整理</p> <p>第8週～第10週 機関 その3 (予習課題) 監査役・会計監査人の実態把握 (復習課題) 監査役・会計監査人をめぐる法律関係の整理</p> <p>第11週～第14週 組織再編 (予習課題) 組織再編の実態把握 (復習課題) 組織再編をめぐる法律関係の整理</p> <p>第15週 フォローアップ</p> <p>3. 使用教材 (Teaching materials) 受講生の関心・レベルに応じて、受講生と相談の上で決めます。</p> <p>4. 成績評価の方法 (Grading) 出席率 10% 授業への参加度 60% ホームワーク 30%</p> <p>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria) 秀 (100～90) : 会社法について秀でた理解力を有し、法的問題を解決する能力が秀でている。 優 (89～80) : 会社法について優れた理解力を有し、法的問題を解決する能力が優れている。 良 (79～70) : 会社法について良好な理解力を有し、法的問題を解決する能力が良好である。 可 (69～60) : 会社法について理解力を有し、法的問題を解決する能力がある。 不可 (59～0) : 会社法についての理解力が不十分であり、法的問題を解決する能力が不十分である。</p> <p>6. 履修上の注意事項 (Remarks) コツコツと地道に勉強していきましょう。</p>			

法学の勉強をしたことがない方も歓迎します。

受講生の希望があれば、①札幌サテライトでの授業、②集中講義の形式での授業、③取り上げるテーマの変更等（上記2参照）、柔軟に対応します。気軽にご相談下さい。